



県内最大規模の訓練 九都県市合同防災訓練を開催します



大規模災害に備え、防災関係機関および地域住民との連携強化と災害対応力向上を図るため、埼玉県との共催により九都県市合同防災訓練を実施します。

今回の訓練は第43回目ですが、北本市では初めての訓練となりますので、ぜひご参加ください。

○訓練詳細 (変更となる場合があります)

予算額	10,887千円
日時	8月28日(日) 9:00~
会場	北本総合公園、北本市体育センター
参加団体数	100機関以上

九都県市合同防災訓練とは

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市で実施している訓練。

令和4年度の埼玉県会場が北本市となります。

※現時点では未確定ですが、消防、警察、自衛隊、九都県市、各インフラ機関、災害時応援協定機関、自主防災会、自治会等を予定しています。



担当者コメント

北本市にとっては初めての九都県市合同防災訓練となりますが、多くの方にとって良い訓練となるよう、様々な機関と調整を始めています。

特に、大人からお子様まで楽しめて、訓練後に実際に行動したくなるような訓練となるよう様々な取り組みを行っていきます。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和4年 2月14日
北本市役所 暮らし安全課
消防防災担当 佐々木
048-594-5523
bousai@city.kitamoto.lg.jp

消防団第1分団ポンプ自動車更新



全分団 消防ポンプ自動車

概要

北本市消防団は6分団定員135人で活動しており、火災出動や大規模災害に備えるため各分団に消防ポンプ車が配備されています。

消防ポンプ車は16年ごとに更新しており、令和4年度に第1分団のポンプ自動車を更新します。



現在の1分団ポンプ自動車

予算額 22,883千円

車両 5tベースのディーゼル車 2輪駆動 AT

最大放水量が1分間に2300ℓの高圧ポンプを装備し、ホースカーは油圧式動力昇降装置で容易に載せ降ろしができます。消防団の車両は中型車のため、小回りが効くことから、狭い路地の災害でも容易に進出でき、地域の安心安全を守るため、消防団ならではの活動ができます。

また、新装備としてデジタル簡易無線機を装備し、大規模災害時に通信設備が遮断された場合にも災害対策本部や隊員との無線交信ができます。



担当者コメント

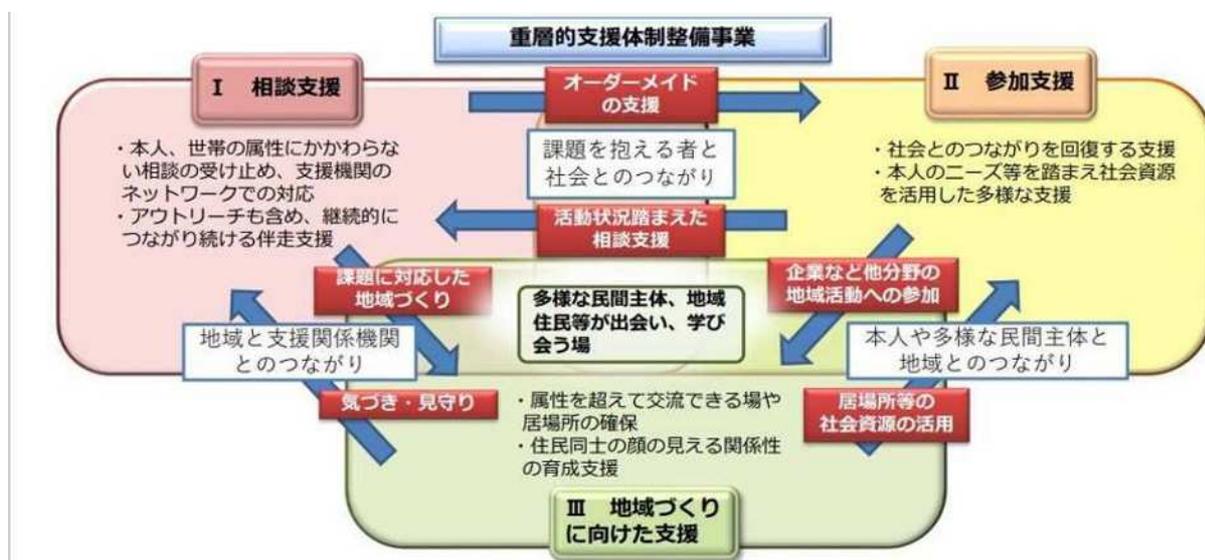
消防団は、火災だけでなく、大規模な地震等においても活躍します。大規模な災害では、通常の通信手段が遮断されるため、簡易デジタル無線で市内全域をカバーできるようにしました。



一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできるまちへ

重層的支援体制整備事業 に取り組みます

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応できるよう、包括的な相談体制を整備し、伴走型の支援を行っていきます。



事業概要

市民が抱える複合的な問題に対して、包括的に受け止める「福祉総合相談窓口」を設置します。また、地域のそれぞれの相談機関が受け止めている課題について、関係機関が連携・協働して支援を検討する体制作りを進めます。

予算

749千円

内容

・重層的支援会議の設立・運営

地域の「複合化・複雑化したケース」について、関係する機関等が参加する会議体を新設します。多角的な視点でケースの課題点を洗い出し、支援の方向性を協議します。

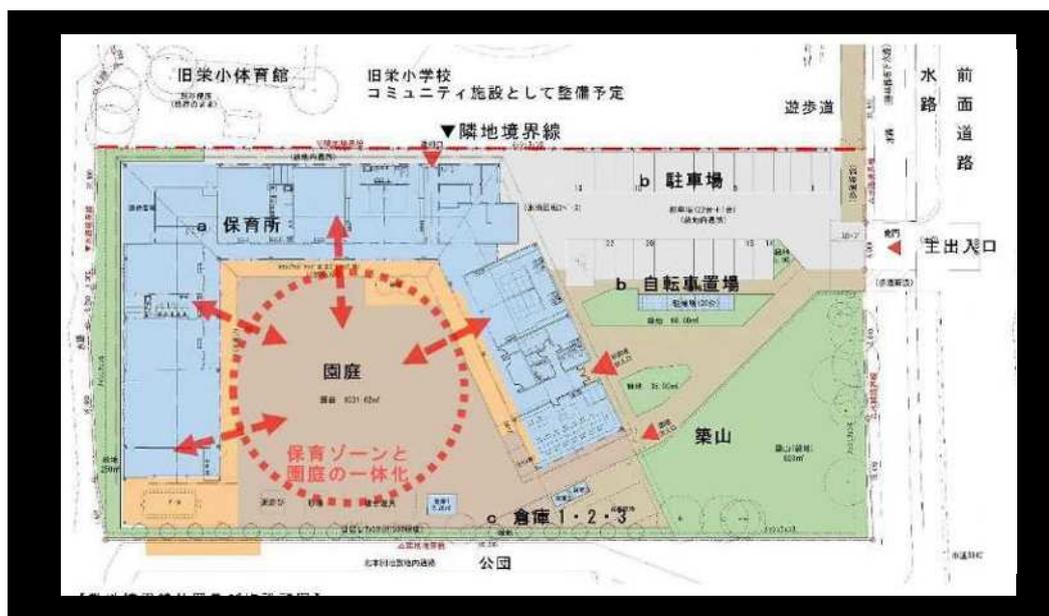
・連携体制の構築

市民が抱える複合的な問題を包括的に受け止める「福祉総合相談窓口」を新設します。また、住民同士が属性を超えて交流できる場づくり(地域づくり事業)や、社会とのつながりを回復するための支援(参加支援事業)について、市・市民・地域関係機関・NPO と連携・協働して進めていきます。



新たに保育所を建設します

～保育サービスの充実を目指して～（仮称）新中央保育所整備事業



参考：（仮称）新中央保育所配置図案

公立保育所4所のうち中央保育所、栄保育所は老朽化が進んでいることから、2所を統合した（仮称）新中央保育所を建設します。

新たに建設する保育所は、緑に囲まれた旧栄小学校跡地の一部を活用します。

また、自然の光や風を取り入れる設計によりエネルギー消費量を抑え、快適な空間を作るパッシブデザインの園舎とします。

開所は令和5年の夏頃を予定しています。

予算

617,490千円

内訳 工事請負費（仮称）新中央保育所新築工事 615,932千円
委託料 現栄保育所解体工事設計業務委託 1,558千円

施設概要

鉄骨造平屋建て 敷地面積 4,598㎡ 床面積 1,010㎡
予定定員数 116名

担当者コメント

令和3年度の当該工事の設計業務にあたっては、利用者の方や、現場の保育士の声を聞き、より安心・安全な保育環境となるよう検討を重ねています。

引き続き、当該工事に際しても関係者の皆様のご理解を得ながら進めていきます。



産婦健康診査事業を開始します

産後間もないお母さんの心身の健康を支えます！



写真はイメージです

うつ病は妊娠の合併症の中で最も頻度が高く10～15%程度とされてきましたが、コロナ禍で、倍増しているとの調査報告があります。産後うつを発症した場合、産婦自身の日常生活に困難を来すようになり、その結果、育児が困難になる可能性があります。

産後うつの予防や必要な支援を早期に行うために、産婦自身も気づきにくい、こころとからだの不調を把握する産婦健康診査の費用補助を行い、受診率の向上を目指します。

予算額 1,950 千円

開始時期 令和4年4月1日(金)

実施方法 契約した医療機関において、「埼玉県市町村産婦健康診査標準実施要領」に基づく産婦健康診査(基本的な産婦健康診査、こころの健康チェック)を実施した場合に補助を行う。

助成額 5,000 円(上限額) 1回の出産につき1回まで

事業財源 国庫支出金(補助率 1/2)

担当者コメント

産婦健康診査の受診率が向上することで、身体やこころの不調に対し、早期に支援を行うことができ、母子保健の向上に繋がるための施策となっています。

報道関係各位



北本市
kitamoto city

令和4年 2月14日
北本市役所 健康づくり課
健康増進担当
048-511-7704
a03600@city.kitamoto.lg.jp

成人歯科個別健診を開始します

今までの集団健診よりも、受診しやすく便利に！



写真はイメージです

歯・口腔の健康は、全身の健康につながることから、生涯を通じて虫歯や歯周病を予防し歯の喪失を抑えることは、健康の保持増進の観点から重要です。

そこで、健診方法を集団から個別にすることで、より多くの市民が身近な歯科医療機関で一定期間、健診を受けられる環境を整え、受診率の向上及び健診後の早期治療に繋がります。

予算額 2,802 千円

実施期間 令和4年6月から12月(予定)

対象者 18歳以上の市民

実施方法 市が契約する歯科医療機関(約21機関)で受診

費用 40歳 無料 その他年齢 500 円

担当者コメント

多様なライフスタイルに合わせ、より身近に受診できるよう個別健診にしました。健診がきっかけとなり、かかりつけ医ができることで、「おいしく食べる」「会話を楽しむ」など、多くの皆様豊かで質の高い生活ができるといいですね。



空き家の解消を目指して

空き家発生予防住宅リフォーム補助金交付事業

北本市では、空き家対策として、現在お住いの住宅に長く住み続けるという選択をしてもらえるように、空き家発生の予防を目的とした住宅リフォーム補助を行う事としました。

空き家になる原因として、核家族化により多世帯同居が少なくなっている事も多いと考え、親や子供と同居するために行うリフォーム工事については、補助限度額の加算を行います。

今後も、空き家発生予防により空き家問題が少しでも解決されるよう、空き家対策を進めてまいります。

予算額

6,000 千円 ※予算の上限に達した時点で補助は終了となります。

事業内容

市内業者が施工する20万円以上の住宅リフォーム工事に、税抜き工事費の5%の補助を行います。

☆補助対象住宅

個人が所有する市内に存する築10年以上経過した、一戸建て住宅、併用住宅(居住部分のみ対象、分譲マンション(専有部分のみ対象))

☆補助対象者

市内に住所を有し、現に補助対象住宅に居住している方

☆補助対象工事

- 1.補助対象住宅の内外装の修理等に関する工事
 - 2.補助対象住宅の居室、浴室、玄関、台所、トイレ等の改良等に関する工事
 - 3.補助対象住宅の増改築又は間取りの変更
 - 4.近隣住民を対象とした高齢者等の居場所・子ども食堂等に改修する工事
- ※4 にあげる施設として利用するために改修した補助対象住宅では、営利活動、政治活動、宗教活動、選挙活動の利用をしないこと。

☆補助限度額

10万円(同居加算5万円)

※補助対象等の詳細については今後変更となる場合があります。

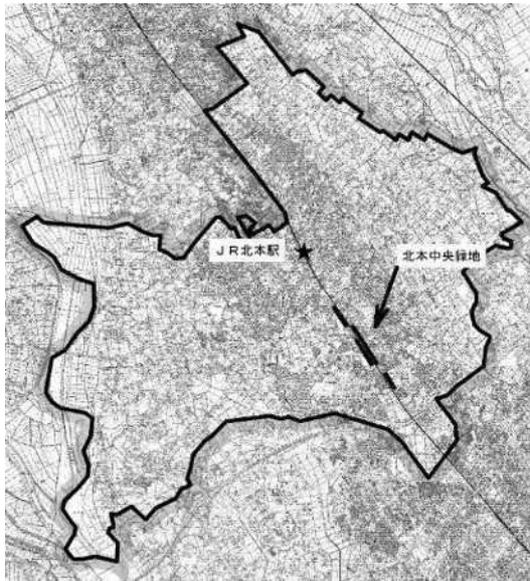
担当者から一言

空き家問題が少しでも解決され、市民のみなさんが利用しやすい補助事業となるよう詳細を検討しています。



J R 高崎線に沿って残る唯一の雑木林

北本中央緑地の用地取得を進めます



北本市では『緑にかこまれた健康な文化都市』の実現のため、JR高崎線沿線において北本中央緑地として面積約3.2haを将来のためにグリーンゾーンとして保全する計画としております。

近隣の人々に安らぎと潤いを与え、市民の身近な軽運動、休息、散策の場となる都市緑地として整備を進めてまいりました。

令和4年度については新たに600㎡の用地の取得を行います。

予算額

土地購入費(600㎡)	30,500	千円
委託費(測量費等)	1,306	千円
物件補償費等	153	千円

担当者から一言

北本市のシンボルである雑木林と里山の風景を守り、育てていくため、引き続き緑地の確保と整備に努めてまいります。



市街地に残る貴重な雑木林の再生を図る 市民緑地 1・2号地再生事業を実施します

市民緑地とは・・・

北本市では市街地に残る民有の緑地の内で、特に市民が利用できる良好な緑地と認められるものについて市民緑地と認定しています。(都市緑地法第60条)

市民緑地では土地所有者と北本市で使用貸借契約を交わし、緑地を広く市民に開放しています。

そのような緑地が北本市には現在4箇所あります。

市民緑地 1・2号地再生事業について・・・

市民緑地 1・2号地は緑3丁目地内にあり、平成27年より市民緑地として市民に開放しています。近隣の方の散策路や憩いの場として親しまれていますが、樹木の高木化、老木化が進行しています。市民緑地 1・2号地を今後も市民に親しまれる緑地として守っていくため、雑木林の更新を行います。

事業内容(いずれも数量は予定)

- 老木の伐採 32本
- 高木の剪定 16本
- 苗木の植樹 6本



予算額

8,059千円

実施期間

令和4年12月～令和5年3月(予定)

担当者から一言

市民緑地 1・2号地は市民の皆様が親しまれている緑地です。しかし雑木林の高木化、老木化は倒木の危険や林床への日照不足による環境悪化を招きます。再生事業では、伐採作業をおこないますが、雑木林の若返りのために必要な事業ですので、ご理解ご協力をお願いします。



久保特定土地区画整理事業見直し事業



事業概要

久保特定土地区画整理事業の早期完成を目指して、デーノタメ遺跡を含む区域を事業から除外し、都市計画道路 西仲通線を西側へ迂回する事業見直し案の方針が、昨年、決定したことをうけ久保特定土地区画整理事業見直し事業を進めていきます。

令和4年度は、事業見直し案の方針に基づき、都市計画道路変更の検討、区画整理除外区域の居住区域の地区計画案の策定を実施します。

北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計においては、区画整理除外区域にかかる測量業務などを実施します。

予算額

都市計画道路変更の検討（業務委託費）	16,590 千円
地区計画案の策定（業務委託費）	5,698 千円

（北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計）

区画整理除外区域の測量など（業務委託費）	13,204 千円
----------------------	-----------

担当者から一言

久保特定土地区画整理事業の見直し案の方針に基づく各種業務を着実にを行い、事業の早期完成を目指します。



北本駅東口駅前広場の屋根整備事業

駅利用者の利便性の向上を図ります。

北本駅東口の駅舎から、雨に濡れることなくタクシーやバスの乗降、朝夕の送迎ができる屋根を整備します。利用者が安全で快適に活用できる駅前広場の整備を第一に考え、工事に向けた設計委託を実施します。

事業内容

●関係機関との協議

高齢者や視覚障がい者が安全に通行できることを目的とし、協議を行います。

●設計委託

令和3年度に実施の基本計画を基に、関係機関との協議や基礎調査を踏まえた、基本設計を実施するとともに、工事を行うための詳細設計を行います。

設計では、駅前広場の歩行者動線を意識し、効率かつ利便性の向上を目指します。

予算額

15,000 千円

担当者コメント

三宮市長の公約である東口駅前広場の屋根かけ整備の実現に向けて、高齢者から子どもまで安全で快適に利用できる施設を目指します。



子供たちの登下校の安全を守ります！ 通学路安全対策事業



事業の背景

- 昨年6月に千葉県八街市で下校中の小学生の列にトラックが突っ込むという痛ましい交通事故が発生した。同様の事故が起きないように、国は通学路の危険箇所への安全対策を講じるよう早急な安全点検を指示し、その点検結果によると、全国の通学路の危険箇所は約11,000箇所となっています。
- 本市においても、家庭や地域の方々の協力を得て市内各校の通学路安全点検を実施し、69箇所が危険箇所と指摘されました。(国や県の管轄箇所を含みます)
- 本市では、危険箇所として指摘を受けた中で、市が対応できるすべての箇所の解消に向けた第一歩として、令和4年度の目玉事業の一つとして「通学路の安全対策」を実施することとし、予算計上をしました。

事業の概要

- 児童生徒の登下校利用頻度が特に高く、早急に改善が必要な危険箇所の舗装工事、道路補修工事、区画整備、ポール設置、グリーンベルト設置等を実施します。

予算額

56,057 千円

担当者から一言

児童・生徒が安全に登下校できる通学路を整備するため、学校における交通安全教育の充実を図るとともに、関係課と連携し補修・整備等を進めていきます。



「石戸蒲ザクラ」国指定 100 年記念事業 蒲ザクラの歴史と未来



開花直前の蒲ザクラの花弁

写真データ提供可

「石戸蒲ザクラ」は、大正 11 年（1922 年）10 月 12 日に国の天然記念物に指定され今年で 100 年を迎えます。また、蒲ザクラは日本で最初に指定された5本の桜（五大桜＝蒲ザクラのほか、滝桜・薄墨ザクラ・神代桜・下馬桜をいいます。）のうちの1本です。

指定の理由は、蒲ザクラが古木かつ巨樹であり、樹種も希少であること。これに加え源頼朝の弟で義経の兄である、源範頼の伝説が伝わることなどが重要な価値として認められたためです。

国指定100年を記念し、蒲ザクラをテーマとした展示会とシンポジウムを開催します。

期 間

令和4年10月4日～15日
(予定)

予 算

1,030 千円

事業内容

- ① 「石戸蒲ザクラ」記念物100年展(仮称)
- ② シンポジウム「石戸蒲ザクラ」を伝える・発信する(仮称)
- ③ 広報「きたもと」での集中連載
- ④ 記念物 100 年のパンフレット作製



担当者コメント

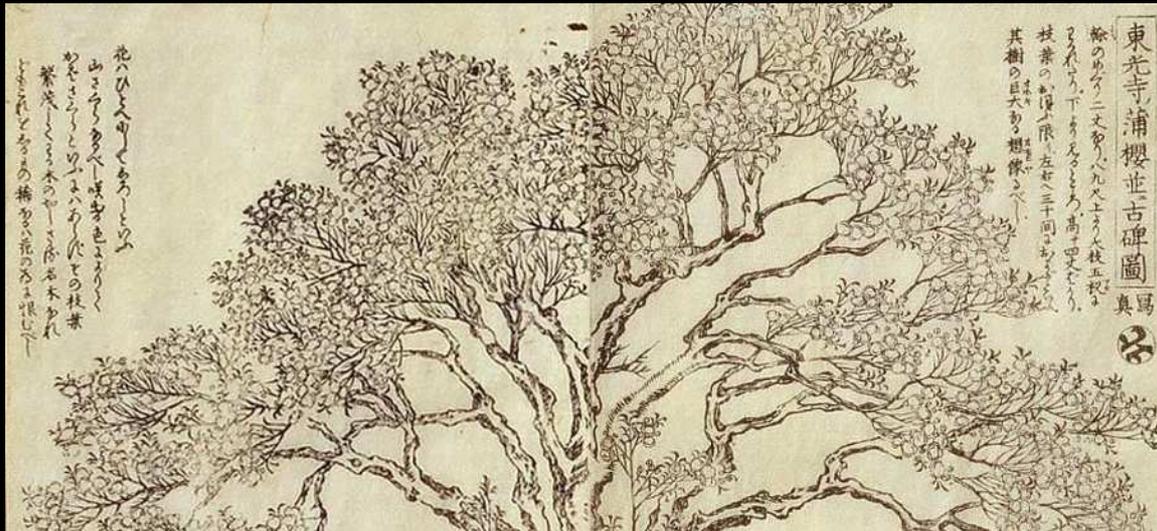
「石戸蒲ザクラ」は江戸時代から評判の桜でした。指定後も現在に至るまで開花期にはたくさんの観光客を集めています。

市の郷土資料室には江戸時代から指定前後の記録類を含む戦前の記録が多く残されています。展示会等では桜としての特徴のほか、蒲ザクラにまつわるさまざまなエピソードを紹介する予定です。



「石戸蒲ザクラ」の育成環境の整備

ひこばえを成長させ根を伸ばす



渡邊崋山の描いた蒲ザクラ(玄同放言より)

写真データ提供可

令和3年、「石戸蒲ザクラ」のこれまでの育成範囲に隣接する土地が天然記念物として追加指定されました。追加指定地は公有地化を行ったうえで蒲ザクラの根の伸長・保護を最優先とした整備と活用を図ります。来年度はその最初の事業として、老朽化した支柱の交換、既存指定地と追加指定地の境界に敷設してあるブロック塀及び鉄製フェンスの撤去を行います。

期間 令和4年度

予算 1,868千円

事業 「石戸蒲ザクラ」周辺整備事業

- 内容**
- ① 蒲ザクラの支柱交換。
 - ② 追加指定地の公有地化を行い、境界囲柵について撤去を行う。
 - ③ ひこばえと根の伸長を図る



担当者コメント

令和2年度に蒲ザクラは台風による大きな折損がありました。しかしこの被害を乗り越え、蒲ザクラを元気にするため、木の成長に一番大切な根張り範囲の拡大を行います。また、北側に芽生え始めたひこばえについて成長させる手だてを図っていきます。



官民連携の新たな形づくりへ
企業版ふるさと納税の実施・促進

こころざしを カタチにする。

企業版ふるさと納税

活用しやすい仕組みになりました！(適用期限:令和6年度末)
👉 寄附のタイミングが柔軟に! 👉 地方公共団体のさまざまな事業に活用できる!

**軽減効果
最大約9割**

自治体が行う地方創生事業に対し寄附を行った企業に、税負担の軽減措置が与えられる企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)制度については、地方への資金の流れを作り、地方創生の充実・強化を図るものです。

北本市としても、本制度の積極的な活用を図り、企業版ふるさと納税による寄附を行う見込みのある企業への働きかけを、民間事業者と行い、寄附の獲得を目指します。

予算額

1,100 千円 (企業版ふるさと納税寄附額の10%+税)

**主な
実施内容**

- (1) 寄附企業に対するベネフィットの整理・検討
- (2) 寄附候補企業のリスト化
- (3) 寄附候補企業への提案
- (4) 寄附企業とのマッチング後の事業企画・調整・事業実施



担当者から一言

個人版ふるさと納税額は令和2年度埼玉県内1位の寄附額となるなど、成果を出してきている所ですが、企業版ふるさと納税に関しては、現状利用北本市としての実績が0件と、上手く活用できていない状況があります。そこで、令和4年度は民間事業者と寄附企業に対するベネフィットの整理・検討、候補企業への提案を通し、活用促進を図っていきます。



シティプロモーション事業新たなステージへ 定住促進に加え、移住促進事業実施



シティプロモーションコンセプト「&green」を軸に実施してきたシティプロモーション事業により、移住・創業小商い・地域活動に関する相談が増えていることから、2022年度より今までメインで行ってきた定住促進事業に加え、移住促進につながる事業を積極的に行っていきます。

予算額 **12,110** 千円

主な 実施項目

【継続事業】

シティプロモーション冊子「&green」改訂事業、&green ファンクラブ運用事業、マーケットの学校事業、歴史文化発信事業、モンベル包括連携事業

【新規事業】

移住・創業小商い・地域活動ワンストップ対応事業、お試し移住事業(概要は別紙)

担当者から一言



人口減少、特に生産年齢人口の減少に対応するため、2019年よりシティプロモーション担当を新設し、まずは若い世代の転出を抑制するため、外から人を呼ぶこむのではなく、今いる人たちに愛着を持って住み続けていただくことを目的に、「&green(アンドグリーン)」というコンセプトのもと、みとりとともに暮らすまちの魅力の向上・発信・参加の場づくりを行ってきました。

これらの取り組みにより、2020年には人口が17年ぶりの社会増に、また、2021年にはシティプロモーションアワード金賞を受賞するなど、成果を挙げているところです。

そのような中で、移住・創業小商い・地域活動を行いたいという市外の方からの相談が増えていることから、現在までの定住促進に重きを置くシティプロモーションから、移住対応も積極的に行う両輪の活動へシフトしていきます。

主なシティプロモーション推進事業（新規事業）

シティプロモーション冊子更新事業

本市の緑とともにある暮らしの魅力を市内の若い世代を中心に伝えるシティプロモーション冊子「&green」の改訂版を作成します。

2, 182千円

移住・定住・創業パッケージ事業

移住希望者向け相談受付、市内ツアー、移住者が望む物件情報のWEB掲載、移住に伴う小商い、創業支援トークイベントの実施等、移住・定住・創業の支援を推進します。

2, 200千円

お試し移住兼コミュニティビルダー育成事業

移住希望者に住居を確保し、お試し移住をする中で、コミュニティ活性化事業に取り組んでいただくことにより、コミュニティビルダーの育成を図ります。

1, 000千円

ファンクラブ運用事業 780千円

移住・定住・交流人口の増加促進を図るため、LINEアカウントのフォロワーに対する情報提供及びファンクラブ会員向け市内ツアー等を実施します。

780千円